

令和5年度（対象：令和4年度）

日吉津村地方創生総合戦略

評価検証報告書

< 内 容 >

1. 総合戦略の評価について
2. 総合戦略の進捗状況の概要について
 - 人口の状況
 - 基本目標と重要業績評価指標（KPI）の状況
 - ・基本目標1
住んでみたい、住み続けたいむらづくり
 - ・基本目標2
結婚・出産・子育てしやすいむらづくり
 - ・基本目標3
働き続けられるむらづくり
 - ・基本目標4
魅力あふれるむらづくり
3. 地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）事業効果検証報告書について

日吉津村
日吉津村総合政策課
（令和5年8月報告）

1. 総合戦略の評価について

(1) 評価検証の目的

日吉津村地方創生総合戦略は PDCA サイクルを活用しながら着実に推進することとしており、進捗について毎年度評価を実施し、今後の施策や事業の改善に活用します。

「日吉津村地方創生総合戦略推進本部」での内部検証、外部有識者で構成する「日吉津村地方創生推進会議」での外部検証を行い客観的に基本目標及び重要業績評価指標（KPI）の進捗状況を把握し、評価結果は議会に報告するとともに村民に公表します。

《国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」より抜粋》

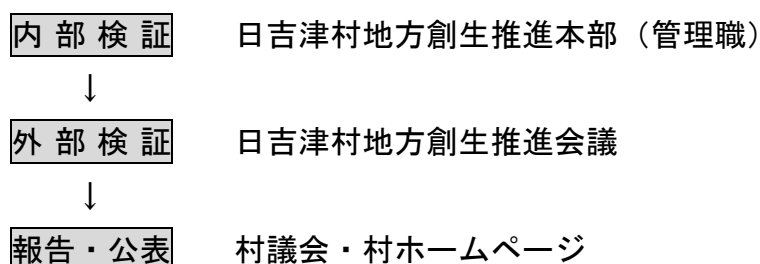
附論 第1章 まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則

5. 結果重視

施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。

その後、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善を行う。

<参考：検証の流れ>



(2) 評価検証の具体的な方法

総合戦略の評価検証は、「総合戦略の全体評価」、「基本目標の評価」及び「施策の評価」で構成します。

なお、検証にあたっては、4つの基本目標毎に設定した「数値目標（KGI）」、及び13の施策毎に設定した「重要業績成果指標（KPI）」の達成度を確認するとともに、それらの達成状況等に重点を置いて評価します。

■KGI（Key Goal Indicator）：戦略を達成するうえでゴールとなる目標を定量的に示した指標

■KPI（Key Performance Indicator）：KGIに到達するまでのプロセスを定量的に評価するための指標

【評価区分及び項目にする説明】

①総合戦略の全体評価

項 目	記 述
(1) 総括評価	「基本目標の評価」を踏まえた戦略全体の総括
(2) 地方創生会議の意見	村の総括評価に対する地方創生推進会議の意見
(3) 今後の取組方針	「基本目標の評価」及び「地方創生会議の意見」を踏まえた戦略全体の今後の展開方針

②基本目標の評価

項 目	記 述
(1) 数値目標の進捗	実績値、達成度
(2) 基本目標の評価	達成度評価、評価の判断理由、評価を踏まえた今後の取組方針

【達成度評価判定区分】

判 定	区 分
達成	実績値が目標値以上
おおむね達成	実績値が 80%以上
努力を要する	実績値が 80%未満
実績値なし	実績値が無いため評価できない

〈達成度の算定方法〉

$$\text{達成度 (\%)} = \text{実績値} \div \text{目標値} \times 100$$

③施策の評価

項 目	記 述
(1) 基本事項	施策目標、事業内容、評価指標 (KPI) の実績値と達成度
(2) 結果・自己評価	施策結果、評価、地方創生会議の意見
(3) 継続・改善点	今後に向けた取り組み方針

2. 総合戦略の進捗状況の概要について

(1) 基本事項

① 戦略の位置付け・目的

日吉津村地方創生総合戦略は、平成 26 年 11 月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本村の実情に応じた「まち・ひと・しごと創生」に関する施策について基本的な方向を定めるものです。

本村では平成 27 年 9 月に「日吉津村地方創生総合戦略」（第 1 期総合戦略）及び「日吉津村人口ビジョン」を策定し、各施策に取り組んできました。

令和 3 年 2 月には、国の動向を踏まえ、人口、経済、地域社会の課題に一体的・持続的に取り組むため「第 2 期日吉津村地方創生総合戦略」（第 2 期総合戦略）を策定しました。

村の最上位計画である第 7 次日吉津村総合計画に掲げる基本構想を踏まえつつ、「人口減少の歯止め」「人口減少社会の中での幸福な暮らしの維持」の 2 つの視点にたって本村独自の総合戦略として集中的に展開していくために策定しています。

② 戦略の期間

令和 3 年 4 月～令和 8 年 3 月

③ 戦略の骨格

～日吉津村の地方創生～

◎ 2060 年(R42)に 3,600 人の人口を目指します。

◎ 4 つの項目によりこの戦略を推進します。

- ①住んでみたい、住み続けたいむらづくり（住むなら日吉津！）
- ②結婚・出産・子育てしやすいむらづくり（子育てなら日吉津！）
- ③働き続けられるむらづくり（仕事づくり！）
- ④魅力あふれるむらづくり（元気なむらづくり！）

(2) 人口の状況

村では以下の人口ビジョンを掲げています。

2060年（R42）に3,600人の人口を目指す

【日吉津村の人口動態（基準日1月1日）】

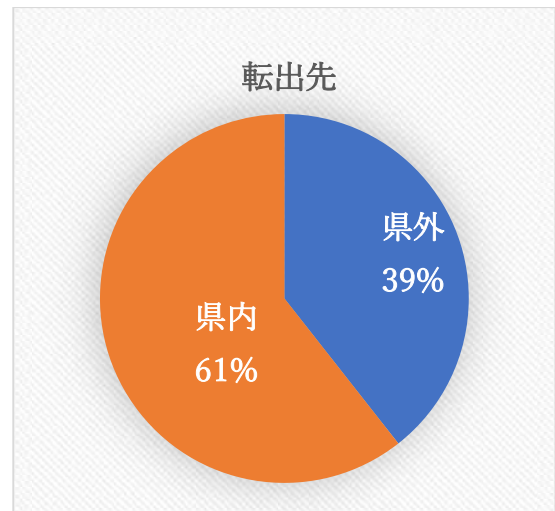
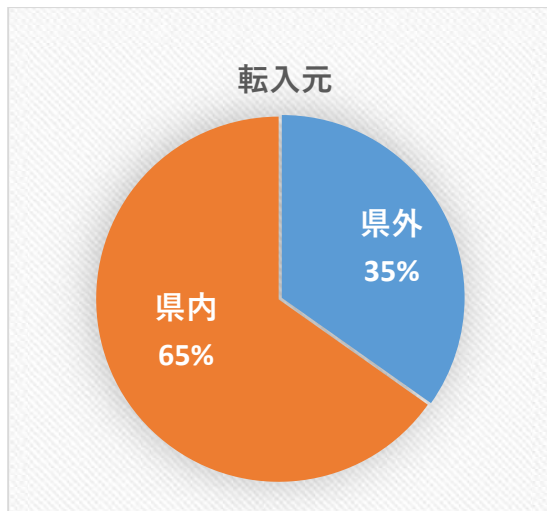
（単位：人）

	H31.1	R2.1	R3.1	R4.1	R5.1
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
人口	3,559	3,554	3,554	3,575	3,599
社会増減	9	△10	2	20	40
転入計	214	176	166	169	186
県外転入者数	90	53	56	52	66
県内転入者数	124	123	110	117	120
転出計	205	186	164	149	146
県外転出者数	94	70	55	50	66
県内転出者数	111	116	109	99	80
自然増減	2	5	△5	△1	△15
出生者数	33	42	31	31	30
死亡者数	31	37	36	32	45

【地域別の社会動態】

（単位：人）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	合計
東京周辺 （東京・千葉・埼玉・神奈川）	△2	△9	△2	4	△9	△18
転入	9	4	4	13	6	36
転出	11	13	6	9	15	54
大阪周辺 （大阪・京都・兵庫）	△3	0	3	△8	△9	△17
転入	8	12	13	4	5	42
転出	11	12	10	12	14	59
中国地方（島根県以外） （岡山・広島・山口）	△2	△17	3	△1	7	△10
転入	47	10	23	9	14	103
転出	49	27	20	10	7	113
島根県	10	0	2	3	5	20
転入	15	9	8	15	18	65
転出	5	9	6	12	13	45
その他の地域	△7	9	△5	4	6	7
転入	11	18	8	11	23	71
転出	18	9	13	7	17	64
県内	13	7	1	18	40	79
転入	124	123	110	117	120	594
転出	111	116	109	99	80	515
合計	9	△10	2	20	40	61



本村の社会動態は、関東や関西地方への流出が続いているものの、米子市をはじめとした県内からの流入が上回っていることにより増加している状況です。

(3) 基本目標と重要業績評価指標 (KPI) の状況 (令和4年度末時点)

[🏠 次ページ参照](#)

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり						評価	達成
目標	日吉津村の暮らしやすさ、立地条件の良さ、自然環境の住みやすさを広く発信し、移住定住の促進を図ります。							
◆数値目標 (KGI)								
指標項目	人口の社会動態							
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
目標値	R1	—	—	—	—	75人	R3からR7の累計	
実績値	66人	20人	40人	—	—	—		
達成度 (単年達成度)		26.7% (133.3%)	80.0% (266.7%)	—	—	—	単年目標値 (15人)	
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)								
<p>【人口の社会動態】 平成27年と令和2年の国勢調査を比べると、鳥取県では唯一日吉津村のみ人口が増加しており、1.8%の増加率でした。 令和4年12月末時点の日吉津村の総人口は3,599人で、令和4年1月から12月の社会増減数は40人（転入：186人 転出：146人）でした。</p> <p>基本目標1の目標値は、人口の社会動態が令和3年から令和7年までの5年間の累計が75人以上になることであるため、2年目である本年度は15人（75人/5年=15人）以上の社会動態の増加があれば達成しているといえます。令和4年の人口の社会動態は40人の増加であるため、目標数値（KGI）は「達成」と評価することができます。</p> <p>また、日吉津村における人口1,000人あたりの転入者数は11.33人であり、鳥取県で一番高い数値となっています。日吉津村への移住者の前住所地をみると、以前から米子市などの鳥取県西部、または安来市など鳥根県東部からの転入が多く、地方への移住が注目されるなか、日吉津村としても首都圏からの移住者の確保についての施策を講じる必要があります。</p>								

委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えているということで、日吉津村は成功事例だと思います。 ・コンパクトな村で、透明性、共有性を持って村民さんと一緒に行動しているので、今度も継続してください。 ・計画的に取り組んでいるので良いと思います。
-------	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり			
施策 1-1	移住・定住支援			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	移住定住総合相談窓口の拡充を行い移住希望者の支援を行うとともに、空き家情報の情報発信や住宅に関する各種補助制度を活用することで、移住者が日吉津村で安心して定住できる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	移住定住支援事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	移住定住総合相談窓口を設置し、結婚から就労、定住まで、IJUターン希望者を総合的に支援します。						
	【事業名】	移住定住支援金			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	東京23区から日吉津村に移住し、鳥取県が指定する事業所に就職した方へ交付金を支給することで移住しやすい環境を整えます。						
【事業名】	結婚・子育て世帯等応援補助金			【担当課】	総合政策課			
	【事業概要】 村内に新規で専任戸建住宅を取得し、継続して村にお住いの40歳未満の世帯へ補助金を支給し定住を図ります。							
【事業名】	空き家の解消と住宅建築可能土地の確保			【担当課】	総合政策課			
	【事業概要】 空き家や宅地情報について村のホームページに掲載するとともに、所有者へ早期にアプローチをして土地や住宅の利活用を推進します。							
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転入者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	100人	R3からR7の平均
	実績値	100人	101人	105人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		101.0% (101.0%)	103% (105.0%)	—	—	—	単年目標値 (100人)
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転出者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	90人	R3からR7の平均
	実績値	94人	85人	79人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		105.6% (105.6%)	108.9% (112.2%)	—	—	—	単年目標値 (90人)
評価指標 (KPI)	指標項目	専用住宅新築棟数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	50棟	R3からR7の累計
	実績値	17棟	18棟	29棟	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		36.0% (180.0%)	94.0% (290.0%)	—	—	—	単年目標値 (10棟)




2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内企業のPR動画の作成 ・東京23区移住者支援金 0件(東京23区から日吉津村に移住し、指定事業所等に就職した方へ支援金を支給) ・結婚・子育て世帯等応援補助金 19件(40歳未満の世帯が、村内で新築または中古住宅を取得した場合に補助) ・新築住宅補助金支給世帯 のべ8世帯(3年間の利子補給、R4年度で終了) ・空き家解消 6棟
-------------	---

評価 (C)	成果	・住宅を取得した子育て世帯への補助金について、住宅メーカー等へ情報提供したことで、申請数が目標を上回り、若い世代の定住が増えました。
	課題	・日吉津村への移住希望者は多いが、市場に出ている住宅建築可能な土地、空家の数が少ないため、更なる掘起しが必要となります。 ・首都圏の移住希望者へ日吉津村のPRをする機会が少ないため、県外からの移住者が少ない状態です。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・空家、土地の所有者へアンケート調査を行い、住宅建築可能な土地の更なる掘起しと、空家の解消を促進します。 ・日吉津村の移住定住に係る支援施策や各種情報について、ホームページを活用して広く周知します。 ・日吉津村が生活圏域ではない方が、日吉津村に魅力を感じ移住先として選択できるよう、県が主催するオンラインイベント等を活用しPRを進めます。
----------------	---

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり		
施策 1-2	シティプロモーションの推進		

1. 総合戦略基本事項




施策目標	日吉津村の魅力を効果的に発信し「ひえづのファン」を増やすことで交流人口を増やし、「まち」と「人」が魅力を高めあう好循環が生まれる村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	地域魅力発信事業					【担当課】	総合政策課	
	【事業概要】	各種媒体（総合パンフレット、SNS等）を活用して、日吉津村の魅力を村内外に発信します。							
	【事業名】	ホームページ運営事業					【担当課】	総合政策課	
【事業概要】	村のお知らせや各種施策についてわかりやすく伝えるよう、村のホームページを運営しています。								
評価指標 (KPI)	指標項目	SNS投稿数（インスタグラム）							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	400件	R3からR7の累計	
	実績値	10件	4件	175件	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		1.0% (5.0%)	44.8% (218.8%)	—	—	—	単年目標値（80件）	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) <ul style="list-style-type: none"> 総合パンフレット作成の検討 ショッピングセンターでのPRブースにてパンフレット配架 SNS活性化のため職員に共有 職員向けホームページ操作研修の実施 							
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ショッピングモールでのパンフレット配布部数が増加し、日吉津村のPRにつながりました。 定期的なSNS更新により投稿数が増加しました。 						
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 社会情勢の変化から村民が情報を取得する媒体も変化しており、多様な媒体（広報誌、ケーブルテレビ、ホームページ、SNS）での情報発信が必要です。 村内の状況（社会資源や新たな商業施設など）の変化に合わせ、総合パンフレットの内容の更新が必要です。 日吉津村をPRするためにも、役場全体でのPR効果の高いSNS等の活用が必要です。 						
委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> 役場からの発信が堅苦しいと思います。 日吉津村をどう宣伝するかが大事だと思います。 自然をPRするには周りの自治体も巻き込んでいく必要があります。 SNSの発信が増えたことへの反響はどうか、検証してより良い発信をするべきです。 高齢者がSNSから情報を得るのは、個人差があり難しいと思います。 							

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> 日吉津村の魅力の情報発信を通して「ひえづのファン」を増やすことで「まち」と「人」の好循環が生まれるよう、特にSNSを活用した情報発信に取り組みます。 より見やすく、興味をもってもらえるような広報を目指します。 							
----------------	---	--	--	--	--	--	--	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり		
施策 1-3	地域とつながるにぎわいの創出		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	観光誘客を促進するため海浜エリア活性化など、地域資源の活用を推進するとともに、ふるさと納税を活用し交流人口の増加をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	大山山麓・日野川流域観光推進協議会広域連携事業			【担当課】	総合政策課			
	【事業概要】	つながるマルシェの開催や観光雑誌への広告の掲載など広域で取り組んでいます。							
	【事業名】	海浜エリアの活性化			【担当課】	総合政策課			
	【事業概要】	海浜運動公園をはじめ、海浜エリアの活性化に向け検討委員会等を開催し、魅力のある海浜エリアによる交流人口の増加をめざします。							
	【事業名】	海浜運動公園管理事業			【担当課】	総務課			
【事業概要】	海浜運動公園を快適に利用できるように、有料施設の運営・管理を行っています。								
【事業名】	ふるさと納税推進事業			【担当課】	総合政策課				
【事業概要】	魅力のある返礼品を開発し、ポータルサイトやアンテナショップなどでPRし、ふるさと納税の推進を図っています。寄附金は、環境保全や教育の振興等趣旨に沿った事業へ活用しています。								
【事業名】	企業版ふるさと納税推進事業			【担当課】	総合政策課				
【事業概要】	税の優遇措置を活用して都市からの資金の流れをつくとともに、日吉津村を応援する企業が増え交流人口の増加につなげます。								
評価指標 (KPI)	指標項目	観光入込客数（米子・皆生温泉周辺エリア）							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	1,000千人	R3からR7の平均	
	実績値	1,024千人	689千人	R4は 集計中	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		68.9% (68.9%)		—	—	—	単年目標値（1,000千人）	
評価指標 (KPI)	指標項目	海浜運動公園利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	14,000人	R3からR7の平均	
	実績値	13,583人	7,785人	10,029人	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		55.6% (55.6%)	63.6% (71.6%)	—	—	—	単年目標値（14,000人）	
評価指標 (KPI)	指標項目	ふるさと納税寄附額							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	100,000千円	毎年	
	実績値	198,930千円	92,945千円	63,233千円	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		92.9% (92.9%)	63.2% (63.2%)	—	—	—	単年目標値（100,000千円）	
評価指標 (KPI)	指標項目	企業版ふるさと納税寄附額							
		基	R2	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	10,000千円	R2からR6の累計 (※税額控除の適用期限が R6までのためR2～R6)	
	実績値	—	1,500千円	4,000千円	9,400千円	—	—		
	達成度 (単年達成度)		15% 75%	55.0% (200.0%)	149.0% (470.0%)	—	—		単年目標値（2,000千円）

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場利用者 6,254人、多目的広場利用者 1,113人、芝生広場利用者 2,597人、テニスコート利用者 0人、ゲートボール場利用者 65人 (計: 10,029人) ・ふるさと納税についてホームページ、鳥取県民コーナーや他県の県事務所やアンテナショップにおいてPR ・ふるさと納税寄附件数 1,996件 ・企業版ふるさと納税寄附企業数 R2 2社 R3 3社 R4 11社 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者と連携し、人気のある品の取扱い数を増やすことで、人気返礼品への寄附は集中したが、その他の返礼品に対して寄附が少なくなった。 ・コロナ禍でのキャンプブームにより、キャンプ場利用者が前年の1.5倍に増加しました。
	<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興について、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業の検討が必要です。 ・魅力あるふるさと納税返礼品の開発が必要です。
<p>委員会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税について、最近は「もの消費」より「こと消費」が増えてきていて、体験型ができればいいと思います。 ・いちご狩り、工場見学、自転車のレンタルなどして、村をゆっくり満喫してもらいたいです。 ・旧うなばら荘を積極的に、利活用を進めてください。 ・テニスコートの利用者0は、しっかり管理して使える状況であれば0と記載すべきだと思います。 ・テニスコートをキャンプ場にしたら需要があると思います。 ・チューリップをもう少し増やせたらいいと思います。 	

3. 継続・改善点等

<p>次年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係団体と連携し観光振興に取り組み、地域の魅力を圏域外へ発信します。 ・魅力のある海浜エリアになるように村民とともに検討します。 ・海浜運動公園の官民連携手法の可能性等を調査研究します。 ・ポータルサイトやホームページを活用した、ふるさと納税、企業版ふるさと納税の周知の強化を図ります。 ・ふるさと納税の返礼品について、村内事業所にアプローチして新たな返礼品の開発に取り組みます。 	
------------------------	---	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり			
施策 1-4	未来技術の活用			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	デジタル技術を活用してあらゆる世代に使いやすい行政サービスを提供し、ニューノーマル（新しい生活様式）に対応した村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	情報システム等整備事業					【担当課】	総合政策課
	【事業概要】	自治体DXの推進を図り、行政手続きのオンライン化などデジタル技術を活用し、行政サービスの向上を推進します。						
評価指標 (KPI)	指標項目	住民向けAIチャットボット質問数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	500件	R3からR7の累計
	実績値	—	—	28	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		—	5.6% (28.0%)	—	—	—	単年目標値 (100件)
評価指標 (KPI)	指標項目	オープンデータ公開件数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	10件	R3からR7の累計
	実績値	0件	0件	0件	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	—	—	—	単年目標値 (2件)
評価指標 (KPI)	指標項目	電子申請手続き様式数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	20様式	R3からR7の累計
	実績値	—	5様式	28様式	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		25.0% (125.0%)	165.0% (700.0%)	—	—	—	単年目標値 (4様式)


2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・住民向け行政サービス（コンビニ交付）の提供に関する準備 ・自治体DX推進プロジェクト会議を開催（3回）し意見交換を実施 ・共有フォルダのルール作り ・AI・RPA製品の情報収集や研究 ・ショートメッセージサービスの導入	
評価 (C)	成果	・電子申請手続きの種類が増え、住民の利便性が高まりました。 ・全庁的な自治体DX推進プロジェクト会議において各課の課題を共有することで、職員のデジタル変革への意識が向上しました。
	課題	・住民向け行政サービスの普及に向けた広報等のPRが必要です。 ・基幹系 17 業務システム（住基、税、年金、福祉等）の標準仕様化に向け、各課の業務フローの見直しが必要です。
委員会意見	・DXを活用し、事業をリンクして何か継続できるものをしてみたいと思います。導入する場合は、費用対効果を検証してやるべきです。	

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・R5年度からマイナンバーカードを活用した、各種証明書（住民票等）のコンビニ交付を始めます。 ・令和7年度を目標時期とし、「(仮称)Gov-Cloud」の活用に向けた検討を踏まえ、基幹系 17 業務システムについて国の策定する標準仕様に準拠したシステムへの移行に対応するための準備を始めます。
-------------	---

基本目標2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり					評価	おおむね達成
目標	未婚・晩婚化の進行に歯止めをかけ、充実した子育て環境を提供することで、安心して子育てができる村をめざします。						
◆数値目標（KGI）							
指標項目	婚姻届出数						
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	備考
目標値	H30	—	—	—	—	100組	R1からR5の累計
実績値	17組	17組	14組	17組	—	—	
達成度 (単年達成度)		17.0% (85.0%)	31.0% (70.0%)	48.0% (85.0%)	—	—	単年目標値（20組）
指標項目	合計特殊出生率						
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	備考
目標値	H30	—	—	—	—	1.70	R1からR5の平均
実績値	1.75	2.27	1.68	1.62	—	—	
達成度 (単年達成度)		133.5% (133.5%)	116.2% (98.8%)	109.2% (95.3%)	—	—	単年目標値 1.70
◆戦略の進捗分析／評価（総括）							
【婚姻届出数】 数値目標（KGI）は令和元年から令和5年の累計で婚姻届出数が100組になることを設定しており、20組（100組/5年＝20組）の婚姻届出数を超えると目標を達成しているといえます。令和元年（H31.1～R元.12）の婚姻届出数は17組（鳥取県合計：2,389組）、令和2年（R2.1～R2.12）の婚姻届出数は14組（鳥取県合計：2,098組）、令和3年（R3.1～R3.12）の婚姻届出数は17組（鳥取県合計：1,977組）であり、2年目の達成率は85.0%と、「おおむね達成」と評価できます。 令和2・3年は、新型コロナウイルスの影響による出会いの場の喪失や結婚を先送りをしたことが要因として考えられます。しかし婚姻数の減少は、新型コロナウイルス感染症の収束後であっても自然に目標が達成されるとは考えにくく、施策の強化が必要です。							
【合計特殊出生率】 数値目標（KGI）は令和元年から令和5年の平均で合計特殊出生率が1.70であることを設定しており、1.70以上であれば目標を達成しているといえます。令和元年（H31.1～R元.12）の合計特殊出生率は2.27（鳥取県合計：1.63）令和2年（R2.1～R2.12）の合計特殊出生率は1.68（鳥取県合計：1.52）、令和3年（R3.1～R3.12）の合計特殊出生率は1.62（鳥取県合計：1.51）であり、目標「達成」と評価することができます。 これは、20歳代や30歳代の若世代の転入者が多いことが要因の一つと考えられます。							

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり			
施策 2-1	結婚支援			

1. 総合戦略基本事項



施策目標	結婚希望者の意向を実現し、未婚・晩婚化の解消をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	結婚支援事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	鳥取県が運営している結婚サポート団体である「えんトリー」の登録経費を助成し、結婚に結びつくよう応援をしています。						
評価指標 (KPI)	指標項目	えんトリー登録者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	—	—	—	—	—	10人	R3からR7の累計
	実績値	—	5人	4人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		50.0% (250.0%)	90% (200.0%)	—	—	—	単年目標値 (2人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・えんトリー入会登録料全額助成 4件 ・えんトリーを広報誌、ホームページ、113ch、イオンモール日吉津で周知	
評価 (C)	成果	・えんトリーの登録について広く周知を行うことで、親や友人からの後押しも得られ、登録のきっかけとなっています。
	課題	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、お見合いイベントなどが実施できていません。
委員会意見	・若者が恋愛に消極的なので、根本的な原因を把握し施策に盛り込む必要があると思います。	

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・周辺の自治体やえんトリー事務局と連携し、多様なイベントの開催を検討するなど、えんトリー登録者の増加に向けた取り組みを行います。 ・ボランティア仲人「縁結びナビゲーター」(えんトリー)の登録促進について、PRIに向けた取り組みを行います。
----------------	--

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり		
施策 2-2	日吉津版ネウボラの深化		

1. 総合戦略基本事項


施策目標	子どもの発達段階や個々の特性に応じた切れ目のない支援を行い、安心して子育てができる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	妊娠出産包括支援事業					【担当課】	福祉保健課
	【事業概要】	子育て世代包括支援センター「すまいるはぐ」を設置し、出産から子育てまで切れ目のない支援を行います。						
評価指標 (KPI)	指標項目	出生数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	H31	—	—	—	—	40人	毎年
	実績値	42人	31人	30人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		77.5% (77.5%)	75.0% (75.0%)	—	—	—	単年目標値 (40人)
評価指標 (KPI)	指標項目	保育所等待機児童数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	0人	毎年
	実績値	0人	0人	0人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (0人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者支援事業 (母子保健型) : 母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期までの継続的な情報提供・相談支援を実施 産前産後サポート事業 : 保健師による電話連絡や継続訪問による個別相談を行い、生後5か月頃には子育て支援センター体験を実施 産後ケア事業 : 保健師 (母子保健コーディネーター) が子どもの生まれた家庭を産後早期より訪問し、支援が必要な保護者へは訪問、電話相談等で継続的な支援を実施 デイケア、ショートステイの活用 	
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から継続して関わることで、支援が必要な家庭の早期発見と継続的な介入が可能となりました。 妊娠期から早期に関わることで相談先の周知・不安の軽減につながりました。 関係機関との情報共有、早期相談を行うことにより、必要な支援事業の利用につながりました。 デイケア、ショートステイの活用
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から子育て期まで一貫して関わることで顔の見える関係を構築し、相談しやすい環境、体制づくりが必要です。
委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが増えない根本的な理由を把握する必要があります。 支援が必要な人だけでなく、幅広く、ちょっと疲れた人が利用できるような制度になってほしいです。 男性は家事が苦手で、女性の負担が大きいのと思うので、男性に向けて家事育児支援を進めたらいいと思います。 総合戦略に女性活躍の観点がないので、女性に活躍いただきながら、育児の支援も必要だと思います。 	

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> 乳児期から小学校期までの期間を継続的に関わるができるミライトひえつの相談しやすい環境、体制づくりを継続します。
-------------	---

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり			
施策 2-3	教育の充実			

1. 総合戦略基本事項



施策目標	学校・地域が連携し、将来日吉津村に貢献する人材をとともに育成します。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	コミュニティ・スクール事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	地域の住民、保護者等と学校の相互理解を深め、信頼される学校を構築します。							
	【事業名】	GUTS日吉津っ子育成事業					【担当課】	教育委員会	
【事業概要】	学校・家庭・地域が連携をしながら、地域に根差した体験学習等を提供し、子どもの健全育成を図ります。								
【事業名】	地元人材育成奨学金支援事業					【担当課】	教育委員会		
【事業概要】	奨学金を受けている方が大学卒業後、日吉津村に戻り地元の企業に通勤する場合、奨学金の全額を助成することで、人材の確保を図ります。								
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津小学校への入学人数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R2	—	—	—	—	36人	R3からR7の平均	
	実績値	31人	36人	36人	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (36人)	
評価指標 (KPI)	指標項目	カルチャー土曜塾参加者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	140人	毎年	
	実績値	135人	146人	207	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		104.3% (104.3%)	147.9% (147.9%)	—	—	—	単年目標値 (140人)	
評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ・スクールの新たな取り組み提案数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	—	—	—	—	—	1回	毎年	
	実績値	—	1回	1回	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (1回)	
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津村地元人材育成奨学金支援制度利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	5件	R3からR7の累計	
	実績値	1件	1件	1件	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		20.0% (100.0%)	40.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (1件)	

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日吉津小学校運営協議会を設置し、小学校運営協議会を6回開催 ・第3回日吉津村熟議(テーマ「放課後、休日の子どもの姿」)を実施 ・児童との交流事業は、コロナ感染拡大により中止 ・カルチャー土曜塾で、コロナ感染防止に努めながら5つの定期コースと3つの体験コースを実施 ・地元人材育成奨学金支援事業の申請・交付決定者 1人 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・熟議での意見を受けて、学校運営協議会委員が小学校授業に参加し教員のアシスタントを行いました。 ・コロナ禍で体験の機会が減少し、カルチャー土曜塾に対する期待の声が聞かれており、年々参加者が増えています。
	<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールについて継続した周知が必要です。 ・カルチャー土曜塾を中心に子どもたちの体験活動の充実を図ります。 ・人口増加に寄与するよう、地元人材育成奨学金支援事業の継続が必要です。
<p>委員会意見</p>		

3. 継続・改善点等

<p>次年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの豊かな活動を提供するために、支援スタッフを地域から募集し拡充します。 ・地域の大人が積極的に関わることによって、地域の子育て意識も高まり、地域力の向上にもつながるので、関わる大人の人材を発掘していきます。 ・対象者全員への地元人材育成奨学金支援事業の周知継続します。(返還開始、返還中の全員に事業紹介文書を送付している)
------------------------	---

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり		
施策 2-4	ミライトひえづの活用		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	新しく建設される複合型子育て拠点施設においても、地域との交流等を積極的に行い、安心して子育てができる村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	複合型子育て拠点施設整備事業					【担当課】	福祉保健課	
	【事業概要】	保育所・児童館・子育て支援センター・民俗資料館を複合化した子育て拠点施設を建設します。							
	【事業名】	子育て支援センター運営事業					【担当課】	福祉保健課	
【事業概要】	地域における子育て支援の拠点として、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、援助等を行います。								
評価指標 (KPI)	指標項目	子育て支援センター利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	2500組	毎年	
	実績値	2209組	1201組	1030組	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		48.0% (48.0%)	41.2% (41.2%)	—	—	—	単年目標値 2500組	
評価指標 (KPI)	指標項目	ファミリーサポートセンター登録者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	75人	R7時点	
	実績値	67人	62人	66人	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		82.7% (82.7%)	88.0% (88.0%)	—	—	—	単年目標値 (75人)	

2. 結果・自己評価

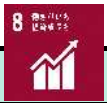


施策結果 (D)	(活動実績) ・複合型子育て拠点施設の完成、令和4年9月5日から供用開始した。 ・子育て支援センターを開所：月～金（日・祝日、年末年始を除く）午前9時～午後4時 土 午前9時～午前12時	
評価 (C)	成果	・村民が新施設ができる姿を実際に目にしたり、ホームページに掲載している進捗状況を確認することで新施設に対する期待や、子育ての機運、村への愛着度の高まりが生まれました。 ・新型コロナウイルス感染症により日吉津村内限定者の利用となる期間が多く、村外の方との交流を図ることが難しかったが、村内限定となったことにより、村内の子育て家庭のより密接な仲間づくりや、子育て情報の共有が図れる面もありました。
	課題	・大きな課題は生じていませんが、引き続き既存施設利用者の安全確保と利便性の確保に努めます。 ・村内限定利用となったことにより、村外の子育て情報を得にくい状況となりました。また、子育てサークルの活動も村外の参加が難しく活動が縮小しました。 ・ファミリーサポートセンターの利用希望に対して、支援会員数が少ないため、要望にこたえきれない状況となっています。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・ミライトひえづに関する情報が広く村民に届くよう、効果的な情報発信に努めます。 ・ファミリーサポートセンターの支援会員数を増やすため、児童館の保護者や交流事業に関わる地域の方々にアプローチしていきます。
-------------	--

基本目標3	働き続けられるむらづくり						評価	おおむね達成
目標	住民の生活を支えるとともに、若年層や1JUターンの就労を望む方が希望に沿った就労ができる村をめざします。							
◆数値目標（KGI）								
指標項目	総人口に対する生産年齢人口							
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
目標値	R2	—	—	—	—	57.4%	R7時点	
実績値	57.0%	56.50%	56.48%	—	—	—		
達成度 (単年達成度)		98.4% (98.4%)	98.4% (98.4%)	—	—	—	単年目標値（57.4%）	
◆戦略の進捗分析／評価（総括）								
<p>【総人口に対する生産年齢人口】 基本目標3に対する数値目標（KGI）は、総人口に対する生産年齢人口を設定しており、<u>国勢調査の結果を実績値として評価すること</u>としておりますので、令和7年国勢調査の結果をもって達成度を判断します。 令和2年の国勢調査における日吉津村の結果を鳥取県内で比較すると、生産年齢人口の割合は鳥取市、米子市に次ぐ県で3番目に高い値です。15歳未満人口の割合は14.6%と県下で一番高く、また、65歳以上の高齢者人口については28.4%と県下で一番低い値でした。 参考に、令和4年12月末時点の住民基本台帳上の人口をみると、総人口3,599人に対して、15～64歳人口が2,033人ですので、<u>総人口に対する生産年齢人口は56.48%</u>（2,033人/3,599人＝56.48%）となり、「おおむね達成」と評価できます。 過去5年間の本村の生産年齢人口の割合について住民基本台帳上の人口を参考にしますと、H29 57.8%、H30 57.4%、R元 57.4%、R2 57.0%、R3 56.5%、R4 56.48%であり減少傾向にあります。令和4年における15～64歳の社会増減をみると、転入者は146人、転出者は119人と、転出者を上回る転入者ではありますが、団塊の世代が高齢になった事による高齢化の影響が大きく、生産年齢人口の割合が微減する結果となりました。 また、鳥取県内で比較したときの日吉津村の特徴として、25～34歳は転入者が多いことがあげられます。これは、移住定住施策に加えて、就業場所が豊富な米子市へのアクセスのしやすさ、日吉津村に在住しながら就労ができる生活の利便性の良さが関係していると考えられます。</p>								

委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・進学で一度県外に出ると、県内の就職情報を集めるのが難しいです。 ・日吉津村から県外に出た大学生に、役場から県内就職先の情報について連絡があると戻ってきやすいです。
-------	---

基本目標 3	働き続けられるむらづくり		
施策 3-1	持続的な地域経済の実現		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	地域経済を支える地元企業が地域の担い手となり、持続的に活躍することをめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	商工振興事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	商工団体と連携し、中小事業所の経営安定、福利厚生の上昇及び地域経済の活性化等を図ります。						
	【事業名】	新型コロナウイルス対策金融支援事業（感染症対策事業）			【担当課】	総合政策課		
【事業概要】	新型コロナ対策融資に係る利子負担を軽減することにより、資金を借り入れた事業者の経営安定を図ります。（新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金）							
【事業概要】	アフターコロナを見据え、経営計画の策定を支援することにより、中小企業者の経営能力等の向上を図ります。（米子日吉津商工会経営診断計画策定業務補助金）							
【事業概要】	新型コロナ感染拡大に伴い、影響を受けている村内事業者に対し、鳥取県と協調し給付的支援を行い事業継続と雇用の維持を図ります。（コロナ禍克服支援給付金）							
【事業名】	新型コロナ経済対策商品券事業			【担当課】	総合政策課			
【事業概要】	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い落ち込んだ消費を改善するために、商品券を発行して村内経済の活性化を図ります。							
評価指標 (KPI)	指標項目	地域経済循環率						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	H27		—	—	—	75.5%	R7時点
	実績値	75.0%	77.6%	—	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		102.8%	—	—	—	—	単年目標値

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・中小企業小口融資預託 1件 ・米子日吉津商工会運営補助 ・新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金 金融機関 4機関・事業者 52件（延）（融資に係る利子負担の軽減） ・米子日吉津商工会経営診断計画策定業務補助金 5件（中小企業者の経営能力等の向上を図る） ・新型コロナ経済対策商品券事業 28件	
評価 (C)	成果	・令和4年度中の米子日吉津商工会会員で倒産はありませんでした。 ＜米子日吉津商工会加入企業数＞ R4.4.1 181社 → R5.3.31 178社
	課題	・高齢化のため廃業される事業者の割合が多く、事業承継が課題として挙げられます。
委員会意見	・事業承継、助成についてはできるできないがありますが、協議したらいいと思います。	

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・商工団体と定期的に情報交換等を行い中小事業者のニーズ把握に努めます。 ・コロナ関連施策を継続して実施し、地域産業振興に努めます。
----------------	--

■地域経済循環率：生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。循環率が高いほど地域の稼ぐ力が強いといえる。

基本目標3	働き続けられるむらづくり	15 国の未来を つくる		
施策3-2	農業の活性化			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	農業者が安心して農業に従事できる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	がんばる地域プラン事業			【担当課】	建設産業課		
	【事業概要】	「がんばる地域プラン」により、事業基盤の強化や農業生産性の向上、多様な担い手の確保を図ります。						
	【事業名】	小規模農家支援事業			【担当課】	建設産業課		
【事業概要】	小規模農家の営農意欲の維持・増進を図るとともに、村内の直売所への出荷を支援することで地産地消を促進します。							
評価指標 (KPI)	指標項目	農業の担い手数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	7人	R7時点
	実績値	5人	5人	5人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		71.4% (0.0%)	71.4% (0.0%)	—	—	—	単年目標値 (0.4人)
評価指標 (KPI)	指標項目	アスパルへ出荷する農家数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	60戸	R7時点
	実績値	40戸	33戸	35戸	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		55.0% -(175.0%)	58.3% (50.0%)	—	—	—	単年目標値 (4戸)



2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・将来ビジョン推進本部の設置 (推進本部会議：5回開催) ・よろず相談窓口の設置、アグリマイスター・認定耕作者の認定ほか ・小規模農家支援：6戸	
評価 (C)	成果	・がんばる地域プラン事業については、県の補助事業を活用し、将来ビジョン推進本部の設置など7つの事業に取り組みました。 ・小規模農家支援事業については、申請者数が前年度に比べ減少しました。
	課題	・がんばる地域プラン事業については、マンパワーが不足しており、推進本部体制の充実が必要となっています。 ・小規模農家支援事業については、制度内容の見直後も、申請者数が伸び悩んでおり、さらに制度周知を図る必要があります。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	・がんばる地域プラン事業については、5年計画の2年目であり、初年度の取組成果を踏まえ、各種事業を年次的に推進します。 ・現場の声を積極的に聞き、事業内容の改善に努めるとともに、各事業をリンクさせることで、より効率的な事業展開を図ります。
----------------	---

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	評価	実績値なし				
目標	地域の絆を深め、村内外に元気な村のイメージを広め、人口減少社会にあっても定住先には選ばれる村をめざします。						
◆数値目標 (KGI)							
指標項目	日吉津村が住みやすいと感じる方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	50.0%	次回アンケート結果
実績値	45.4%	—	—	—	—	—	
達成度 (単年達成度)		—	—	—	—	—	
指標項目	日吉津村に住み続けたい方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	60.0%	次回アンケート結果
実績値	59.9%	—	—	—	—	—	
達成度 (単年達成度)		—	—	—	—	—	
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)							
【日吉津村が住みやすいと感じる方の割合・日吉津村に住み続けたい方の割合】 基本目標 4 に対する数値目標 (KGI) は、日吉津村が住みやすいと感じる方の割合と日吉津村に住み続けたい方の割合を設定しています。この指標項目では、18歳以上の方を対象とした「むらづくりアンケート」の調査結果で評価をしております。次回のむらづくりアンケートは令和6年度の実施を計画しておりますので、その結果をもって評価を行います。 令和2年に実施した調査では、特徴として30歳代が日吉津村を評価する傾向が強く、特に「人のあたたかみが感じられる村である」の項目では、「そう思う」と回答した方の割合が、全体の22.5%に対して、30歳代は51.7%と大きく上回っています。これは保育所や小学校での取り組みを通して子育て世代と地域の関係性が構築されているためと推測できます。							
村づくりアンケート調査結果 (R2.1～2実施) 単位：%							
	全体	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
日吉津村を「住みやすい村」だと感じますか	45.4	39.1	65.5	51.1	40.6	39.1	44.8
これからも日吉津村に住み続けたいと思いますか	59.9	43.5	65.5	57.4	50.0	59.4	69.0
活気にあふれた村である	14.1	13.0	27.6	25.5	9.4	6.3	11.5
きれいな村である	22.2	30.4	34.5	23.4	3.1	18.8	25.3
災害や事故が少なく安全な村である	30.3	34.8	41.4	25.5	21.9	21.9	37.9
緑豊かで自然に恵まれた村である	23.9	30.4	34.5	34.0	15.6	15.6	23.0
人のあたたかみが感じられる村である	22.5	21.7	51.7	25.5	12.5	12.5	23.0
生活しやすい村である	34.5	30.4	55.2	46.8	28.1	23.4	33.3
安心して子育てができる村である	34.5	26.1	48.3	42.6	37.5	21.9	36.8
村民として誇れる村である	32.4	26.1	44.8	44.7	25.0	23.4	33.3

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり		
施策 4-1	人がつながるコミュニティづくり		

1. 総合戦略基本事項



施策目標	地域コミュニティ活動の活性化を図り、協働と参画の村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	ヴィレステひえづ拠点事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	生涯学習の場としてヴィレステひえづに村民が集い「元気な村づくり」を推進する人材を育成します。							
	【事業名】	地域政策事業					【担当課】	総合政策課	
【事業概要】	コミュニティ支援スタッフを配置するとともに、コミュニティ活動支援事業助成金を活用した自治会等の主体的な活動を支援しています。								
評価指標 (KPI)	指標項目	ヴィレステひえづ利用者数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	33,000人	R3からR7の平均	
	実績値	32,483人	30,178人	27,862人	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		91.4% (91.4%)	87.9% (84.4%)	—	—	—	単年目標値 (33,000人)	
評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ支援助成制度利用件数							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	—	—	—	—	—	25件	R3からR7の累計	
	実績値	4件	2件	4件	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		8.0% (40.0%)	24% (80.0%)	—	—	—	単年目標値 (5件)	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3ふれあいフェスタを展示のみだったものをR4は、野菜、鮮魚等の販売も再開 (来場者：1,081名) ・第4回日吉津村音楽祭開催 ・ヴィレステ利用者数の減は、ワクチン接種の回数減少による接種者の減が主な要因 ・中学生サークルを立ち上げ、活動やイベントを通して住民と交流している ・自治会等の実情に応じたコミュニティ支援スタッフによる活動支援、およびコミュニティ支援スタッフリーダー同士の意見交換を実施 (2回) ・自治連合会にて、コミュニティ支援助成制度について周知を図った 	
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・R3に希望が多かった高齢者スマホ教室は回数を増やし実施しました。 ・中学生サークルの活動により、幼児、子育て世代、事業者、高齢者等、多様な立場の方と中学生との関わりが生まれています。 ・コミュニティ支援助成制度の利用が4件ありました。(新規3件、継続1件)
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種実行委員会の中心メンバーの高齢化が進行しています。 ・長年継続して委員を務める方もあり、若手へ変更しながら持続可能な組織づくりを推進します。 ・新型コロナの影響により、停滞していた自治会活動をコロナ前の水準に戻し、地域力を発揮させる必要があります。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集と体験を通じ、イベントの中心となるスタッフ育成を図ります。 ・実行委員会のメンバーを増やす取り組みなどを通じ、次世代の担い手の発掘と育成を図ります。 ・コミュニティ助成金の使い道がわからないという意見もあり、積極的な活用を促すための周知と継続的なコミュニティ支援スタッフの伴走支援が必要です。
-------------	---

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり		
施策 4-2	いきいきと暮らせる環境づくり		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	医療・保健・福祉・介護が一体となった総合的な健康づくりを推進し健康寿命の延伸をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	健康寿命延伸事業					【担当課】	福祉保健課
	【事業概要】	健康的な生活習慣を獲得するための健康教室やインセンティブ付与を行い、生活習慣病を予防します。						
評価指標 (KPI)	指標項目	『まちの保健室』参加者						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	85人	毎年
	実績値	70人	19人	25人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		22.4% (22.4%)	29.4% (29.4%)	—	—	—	単年目標値 (85人)
評価指標 (KPI)	指標項目	前期高齢者の介護保険の認定を受けている人の割合						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	5.0%	R7時点
	実績値	5.2%	4.7%	5.2%	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		114.0% (114.0%)	104.0% (104.0%)	—	—	—	単年目標値 (5.0%)
評価指標 (KPI)	指標項目	健康ポイント交換者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	20人	毎年
	実績値	18人	96人	90人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		480.0% (480.0%)	450.0% (450.0%)	—	—	—	単年目標値 (20人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室：高齢者学級との共催実施、併せてご当地体操の体験会実施 ・食習慣改善事業：食生活コントロールキャンペーン（8・2月）実施 ・健康ポイント事業：手帳を刷新し、住民が事業に取り組みやすいようポイント付与項目を追加 ・健口寿命延伸事業：特定健診時歯科保健指導、妊婦歯科検診費用助成を実施 ・特定健診・がん検診受診率向上事業：新40歳に健康ファイルを配布し、健康づくりに関する情報提供を行った ・フレイル対策：フレイル予防の普及啓発、フレイル評価システムを活用したフレイルチェックを実施 	
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・健康ポイント交換者数の増加から、各種保健事業を実施することで、住民の生活習慣改善や健康づくりへの意識向上につながっていることが伺えます。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により健診・各種がん検診の受診率が低下したが、令和3年度は微増しました。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室事業の自治会向け開催に取り組めていません。 ・健診（検診）未受診者対策として、若い世代の受診率向上を図る必要があります。 ・課内において各々実施している事業について、効率よく一体的に実施可能なものはないか、検討する必要があります。
委員会意見		

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室事業再開での感染対策の徹底と、感染が気になる村民向けにメディア等の有効活用にて情報を発信します。 ・住民が自ら健康づくりに取り組むことができるよう、啓発事業や健康教育等の事業の充実を図ります。 ・引き続き、健診（検診）の受診勧奨を行うとともに、受診しやすい環境整備に努めます。
-------------	---

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり			
施策 4-3	安心・安全なむらづくり			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	安心・安全な暮らしが送れるよう、環境負荷をできる限り低減する循環型社会の構築と防災に強い村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	ごみの減量化事業					【担当課】	住民課	
	【事業概要】	電気式生ごみ処理機の助成等を行い家庭ごみの減量化を図るとともに、正しいごみの分別や環境保全についての周知を行います。							
	【事業名】	住宅用太陽光発電システム等導入支援事業					【担当課】	住民課	
【事業概要】	太陽光発電システムや蓄電池などの導入補助を行いCO2の削減と省エネルギー社会を実現します。								
【事業名】	災害対策事業					【担当課】	総務課		
【事業概要】	災害備蓄品や資器材を整備するとともに、防災訓練や防災士の育成を行い災害に備えます。								
評価指標 (KPI)	指標項目	一人当たりのごみの排出量							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	570 g	R3からR7の平均	
	実績値	574 g	575 g	572 g	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		— (99.1%)	— (99.6%)	—	—	—	単年目標値 (570 g)	
評価指標 (KPI)	指標項目	防災士資格取得者の育成							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	—	—	—	—	—	30人	R7時点	
	実績値	—	22人	26人	—	—	—		
	達成度 (単年達成度)		73.3% (100.0%)	86.7% (200.0%)	—	—	—	単年目標値 (2人)	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災無線等を活用したごみに関する啓発活動 ・ 不法投棄された廃棄物については、迅速に回収し、きれいな環境維持に努めた ・ 電気式生ごみ処理機等導入経費の一部を助成（電気式生ごみ処理機 3台、コンポスト 0台） ・ 太陽光発電システム導入補助 6件 蓄電池 7件 ・ 避難基準の改正及び村の対策本部組織の再編等を反映し、日吉津村地域防災計画を見直し ・ 全職員対象の防災訓練を実施 ・ 福祉避難所に係る設置・運営訓練の実施 	
評価 (C)	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不法投棄ごみは迅速に回収することで同所での投棄を増やさないよう対応しています。 ・ 電気式生ごみ処理機及びコンポストの導入経費助成が、家庭ごみ減量の一助となっています。 ・ 太陽光発電システムの導入に加え、蓄電池の導入にも補助を開始しました。 ・ 全職員を対象に防災訓練を実施したことで災害時の初動体制を再確認することができ、参加者から改善策の提案があるなど多様な視点から災害対応を検証することができました。 ・ 防災訓練を実施することで、課題点の抽出ができ、関係団体での共通認識が図ることができました。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依然、ごみの不法投棄があります。 ・ コロナ禍で中止になった事業等の代替実施案を検討する必要があります。 ・ 備蓄品の更新及び品目の再検討が必要です。

委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに誰一人取り残さないという理念があるため、セーフティーネット(犯罪被害者支援)の考えも総合戦略に入れたらいいと思います。 ・ボランティア、ゴミ拾いなど参加するとポイントが貯まるような「日吉津アプリ」を導入してはどうでしょうか。 ・ゴミ拾いをスポーツ化するなど、楽しくできる仕組みづくりができればいいと思います。
-------	--

3. 継続・改善点等

次年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ自治会に出向いてごみに関する説明会を行い、また、ひえづ113チャンネルや防災無線などを活用するなどし、ごみの適正排出や減量化に向けた取り組みを行います。 ・ゴミ拾いボランティア(ウォーキングなどをしながらゴミ拾いを行っていただく)を募り、村内の環境美化活動を推進します。 ・太陽光発電システムや蓄電池の補助制度を周知し、引き続き、再生可能エネルギーシステムの導入を推進します。 ・防災士連絡協議会を開催し、情報共有や連携及び各種研修等によるスキルアップを図り、地域防災力の強化を目指します。 ・自主防災組織と防災士の連携強化を目指します。 ・継続して、全職員対象の訓練を実施します。
----------------	--

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税） 事業効果検証報告書

令和3年8月20日 付けて認定を受けた地域再生計画に記載されているまち・ひと・しごと創生寄附活用事業に係る令和4年度の実施状況について、下記のとおり報告します。

記

1 地域再生計画の名称及び事業の名称

地域再生計画の名称	第2期日吉津村ふるさと創生推進計画
事業の名称	日吉津村ふるさと創生推進事業
地域再生計画の概要	日吉津村は、これまで人口が増加傾向であった。将来的に人口増加の推計もあるが、毎年の出生者が20人台後半であった場合は、急激な減少はないものの、人口が減少傾向に転じる。階層別人口の推計から、子どもを増やす取り組みは勿論だが、生産年齢人口が流入する施策にも取り組むことが、人口を減少させず、維持・増加に効果的であると考え。具体的には、「住むなら日吉津!」、「子育てなら日吉津!!」などを基本目標として掲げ、定住策、健康寿命延伸の取組等の強化を行い、将来的な人口減少傾向を解消し、人口の増加を目指す。

2 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附の実績

年度	
事業費計（円）	831,009,375
寄附額計（円）	9,400,000

法人名	法人番号	寄附額（円）	受領日	公表の可否
株式会社アミバラ	8260001000354		2022/5/2	①企業名・寄附額：公表
株式会社モチダ	3270001003609		2022/8/4	②企業名：公表、寄附額：非公表
有限会社齊木電気設備	1270002005952		2022/8/31	②企業名：公表、寄附額：非公表
栄和電気工事有限会社	1270002005440		2022/8/26	①企業名・寄附額：公表
株式会社桑本建築設計事務所	7270001003225		2022/9/1	①企業名・寄附額：公表
I M F 株式会社	4270001006833		2022/8/26	①企業名・寄附額：公表
株式会社リンクス	5270001003870		2022/8/31	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社ワーパス	8270001003645		2022/9/16	②企業名：公表、寄附額：非公表
有限会社藤原建築工務店	4270002008399		2022/9/28	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社大協組	8270001003364		2022/10/3	②企業名：公表、寄附額：非公表
株式会社パークホームズ	9050001037326		2023/1/24	②企業名：公表、寄附額：非公表

3 事業の実施状況に関する客観的な指標

指標	人口の社会動態（人）		
	年 月	目標値	実績値
申請時	2019年12月	-	66(H27～R元年累計)
初年度	2020年12月	-	2
2年目	2021年12月	-	20
3年目	2022年12月	-	40

指標	婚姻届出数		
	年 月	目標値	実績値
申請時	2018年12月	-	17
初年度	2019年12月	-	17
2年目	2020年12月	-	14
3年目	2021年12月	-	17

指標	合計特殊出生率		
	年 月	目標値	実績値（総人口）
申請時	2018年12月	1.7	1.75
初年度	2019年12月	1.7	2.27
2年目	2020年12月	1.7	1.68
3年目	2021年12月	1.7	1.62

4 事業費及び関連する寄附額

事業の名称	新築住宅借入利息助成事業
-------	--------------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	移住・定住促進
---------------------	-----------	---------

事業の概要

人口の増加と地域の活性化を図るため、金融機関から融資を受けて新築住宅を建設する者に対し、利子負担の一部を助成する。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	2,134,572	歳入計	130,000
		内訳	
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	130,000
		※上記以外の財源	0

事業の名称	地域魅力発信事業
-------	----------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	移住・定住促進
---------------------	-----------	---------

事業の概要

「必要な情報を必要な時に分かりやすく提供すること」を目的とし、公式ホームページの運営を行うとともに、ホームページを中心にInstagramやFacebookなど各種SNSと連携し村内外に情報発信を行うことで、安心して暮らせる環境の整備と移住定住の促進を図る。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	556,730	歳入計	200,000
		内訳	
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	200,000
		※上記以外の財源	0

事業の名称	保育所等複合施設整備事業
-------	--------------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

保育所、児童館の建て替えに伴い、同一敷地内にある子育て支援センター、民俗資料館を併せて複合化し、地域との交流ができる新たな子育ての拠点となる施設を建設する。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	791,910,519	歳入計	1,000,000
		内訳	
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	1,000,000
		※上記以外の財源	0

事業の名称	企業版ふるさと納税推進事業
-------	---------------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	
---------------------	-----------	--

事業の概要

企業からの寄附を地方版総合戦略に位置付けられた事業に活用し、企業版ふるさと納税の推進を行う。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	1,632,274	歳入計	270,000
		内訳	
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	270,000
		※上記以外の財源	

事業の名称	複合型子育て拠点施設管理運営
-------	----------------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	子育てならひえづ事業	少子化対策
---------------------	------------	-------

事業の概要

複合型子育て拠点施設の管理運営及び、各施設間の連携を図る。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	9,426,205	歳入計	4,200,000
		内訳	4,200,000
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	4,200,000
		※上記以外の財源	

事業の名称	海浜運動公園管理
-------	----------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	住むならひえづ事業	移住・定住促進
---------------------	-----------	---------

事業の概要

海浜運動公園、キャンプ場の維持、管理。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	23,902,424	歳入計	3,100,000
		内訳	3,100,000
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	3,100,000
		※上記以外の財源	

事業の名称	ヴィンステひえづ拠点事業
-------	--------------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	元気なむらづくり事業	
---------------------	------------	--

事業の概要

「元気なむらづくり」を推進する人材の育成。 村民が気軽にイベントに参加し、相互親睦を深め、共に学び発表する場をつくる。 生涯学習の場としての積極的な利用で、文化活動の活性化につなげ、郷土愛を育てる。

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	494,000	歳入計	494,000
		内訳	494,000
		地方創生応援税制の適用のある寄附額計	494,000
		※上記以外の財源	

事業の名称	健康寿命延命事業
-------	----------

対応する地域再生計画に掲げる事業の名称	元気なむらづくり事業
---------------------	------------

事業の概要

村民の健康状態に即した効果的な保健事業に取り組み、健康寿命の延伸を目指し、元気な村づくりを支える人を増やす。
--

事業費の内訳

(歳出)	(単位：円)	(歳入)	(単位：円)
歳出計	952,651	歳入計	6,000
		内訳	地方創生応援税制の適用のある寄附額計
			6,000
			※上記以外の財源

5 事業の目標の達成状況

該当するものに「○」	達成状況
	目標以上を達成
○	概ね目標を達成
	目標達成に向け順調に推移
	やや目標達成困難
	目標達成困難